

図書だより



種子島中央高校図書館

新しい学年が始まって早1ヶ月。クラスの雰囲気にはもう慣れましたか？高校時代に出会う本は一生の宝物です。学習や部活動の合間に、少しでもたくさんの本を手にとってもらえたら嬉しいです。種子島中央高校には約2万冊を超える蔵書があり、貴重な郷土資料から最新の文庫・新書まで知的好奇心を刺激する本がたくさんあります。また、進路選択・小論文関連本の特設コーナーや、社会情勢を知るための新聞、生活を彩る雑誌もあります。もちろん自習にも利用できますよ。図書館に気軽に立ち寄ってくださいね。

おさらい

図書館利用等について

- 【場 所】 特別棟3階中央
【開館時間】 平日9:30~16:45
【貸出冊数】 3冊まで
【貸出期間】 2週間
【蔵 書】 2万1千冊以上
- ・新聞3紙
南日本新聞,朝日新聞,毎日新聞
 - ・雑誌2誌
ダ・ヴィンチ(文芸情報誌)
オレンジページ(生活総合情報誌)

【貸出時】
カウンターで「貸出をお願いします。」
と言い、年・組・番号を伝えバーコード
を読み取ってもらいます。

【返却時】
「返却をお願いします。」と言い、バー
コードを読み取ってもらいます。

※返却は、生徒玄関近くの図書返却
ボックスも利用できます。
※本のバーコードが見えるように出し
てください。

5月の文豪・名著紹介

ごじょうたんに なかじま あつし
「悟浄嘆異一沙門悟浄の手記一」 中島 敦(1909.5.5~1942)

てんじく さごじょう
天竺への旅の途中、沙悟浄は仲間達の人物像について考えま
す。力と才能に満ちあふれ、どんな困難をも打破する天才・孫悟
空。現実的な享楽主義者でありながら、その奥底に虚無の影が
ちらつく猪八戒。肉体的には弱く、無力な存在だが精神的な高潔
さが3人をひつけてやまない三蔵法師。一方、自分はというと、積
極的な役割は果たせず行動を伴わない観察者にとどまっている
…。沙悟浄は悩みます。

西遊記をテーマに、高校生でも共感できる普遍的な苦悩を描いた短編です。この作品には「悟浄出世」という前日譚もありますので、併せて読んでみてください。

著者の中島敦は、才能がありつつも病のため33歳の若さでこの世を去りました。教科書でもおなじみ「山月記」や「李陵」「名人伝」など中国の古典を題材にした作品で有名です。



朝読書のススメ

種子島中央高校では朝のSHR前に朝読書を実施しています。ルールはとてもシンプルな以下の4つです。

1. みんなでやる（種子島中央高校生全員で！実はこれが一番大事）
2. 毎日やる（コツコツの力は偉大なのです）
3. 好きな本でよい（漫画と雑誌以外ならOK！自分の「好き」を探そう）
4. ただ読むだけ（感想文も発表も必要なし）

朝、みんなで静かにスタートすることから、遅刻が減る、気分が落ち着く、さらに読解力がつくなど様々な効果があると言われています。そもそも読書とは、時間や空間を超えて知識や体験を与えてくれるものであり、また、自己を客観視する場を与え、自身の考えを深めてくれるものです。高校時代に朝読書に取り組むことがみなさんの人生をより豊かにしてくれることは間違いありません。

みなさん勉強に部活に忙しい毎日だとは思いますが、10分だけでも「読書」という自分への知的な投資に取り組んでみませんか。



何を読もうか迷ったときは…

映像化作品の原作本やノバライズ(小説化したもの)は読書初心者にもおすすめ。知っている映画やドラマの原作なら、演者の顔や声を思い浮かべながら読み進められ、ストーリーも追いやすいですよ！それに映像作品と原作との違いを味わうこともできて、読書も2倍楽しめます。



913.6
続編も大人気！！
『変な家』
雨穴(飛鳥新社)



913.6
薬師・猫猫が事件の謎を解明する後宮ミステリー
『薬屋のひとりごと1〜』
日向夏(主婦の友社)

「でも、本を読むの苦手なんだよね…。」という人もいるのでは？まずは短編集やショート・ショートと呼ばれる短い文章から始めてみてはいかがでしょうか。

ほかにも、著名人の名言集や自然科学分野のテーマ別雑学集などから、まずは「読むこと」に慣れていこう！



913.6
これぞ究極のショートショート
『54字の物語』
氏田雄介(PHP研究所)



400
美しい写真も堪能しながら読める
『たった3分間のすごい世界』
大崎章弘(えほんの杜)